

14. 学力向上推進計画

南風原町立翔南小学校

1 目標

児童一人一人が学ぶ力を身につけ「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む。

2 基本方針

- (1) 校長の学校経営基本方針のもと、取り組み事項の共通理解を図り、協働体制で実践する。
- (2) 沖縄県「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ～学びの質を高める授業改善・学校改善～」及び南風原町「かすりっ子『学ぶ』プロジェクト」の方針に基づき、本校の特色を生かした学力向上推進計画を立てる。
- (3) 児童一人一人の「確かな学力」の向上を図るため、日常的な共通実践事項を一層充実させるとともに、校内研修を中心とした教師の指導力の向上・授業改善の取組を推進する。
- (4) 県の「学校教育における指導の努力点」として掲げている「確かな学力」の向上を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現に向けた指導体制や指導方法の確立を推進する。
- (5) 学力向上の総括目標・推進目標の達成に向けて、児童の実態を十分把握した上で具体的な取組を推進する。
- (6) 学校支援地域本部事業や幼小中との連携を通して地域教育資源を活用した授業の工夫改善に取り組む。

3 取組構想

総括目標：児童の学力を全国水準に高め、維持する。

推進期間：令和2年度～令和6年度【学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ】



成果指標：全国学力・学習状況調査を指標として検証する。

- 小学校全教科において全国平均正答率以上の維持
- 平均正答率30%未満の児童の割合及び無解答率の減少
- 児童質問紙における学習意欲等に関連する項目の数値の向上
- 学校質問紙の「授業における基本事項」等に関連する事項の数値の向上



【実態】

- ◎令和3年全国学力・学習状況調査の国語、算数の教科全てにおいて、全国平均正答率を上回ることができなかった。
- ◎令和3年度の県到達度調査において、5・6年の算数で県平均を上回った。

【推進目標】

- ① 令和4年度全国学力・学習状況調査において、学習意欲等に関連する項目において前年度を上回る。
- ② 令和4年度全国学力・学習状況調査において町や県との差を前年度より縮める。
- ③ 令和4年度県学力到達度調査において県平均を上回る。
- ④ 諸学力調査において、前年度よりも無解答率を低くする。

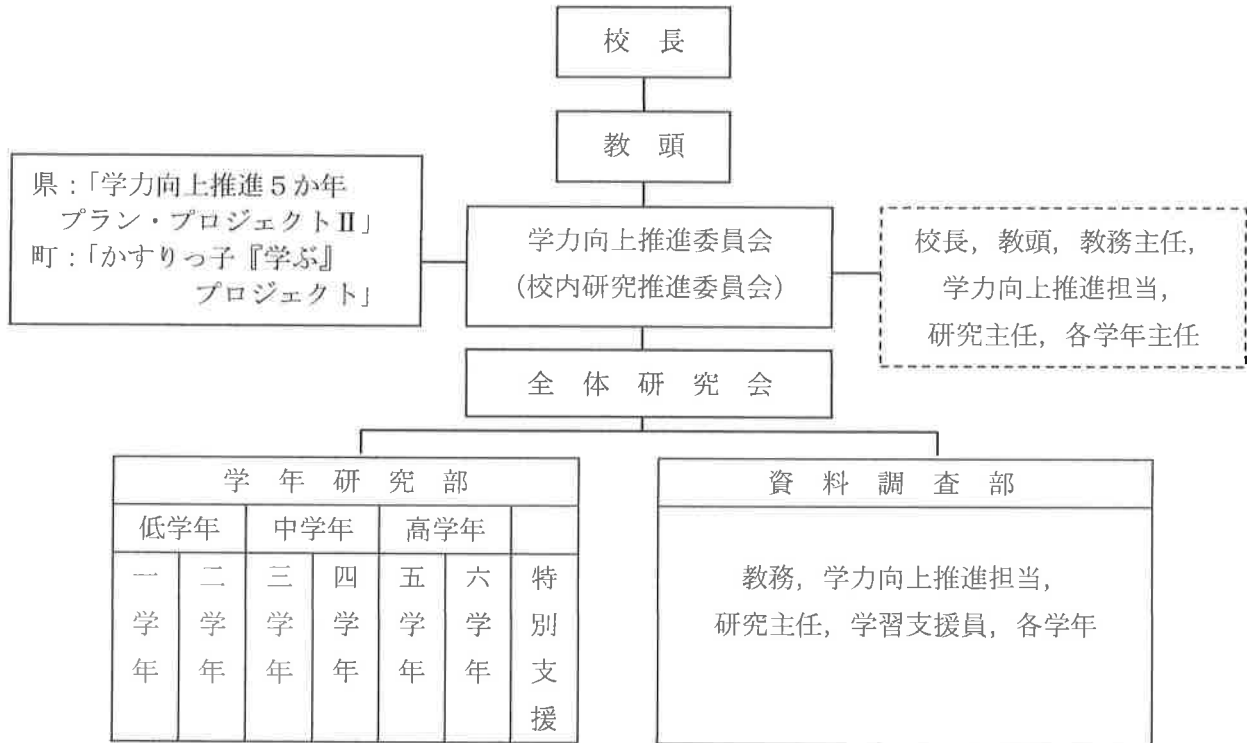
【課題】

- ・質問紙調査において自己肯定感や学習意欲等に係る項目が全国に比べて低い傾向がうかがえる。
- ・算数や国語において、自分の考えを記述する問題の無解答率が高い。

4 推進の視点

学力向上推進にあたって学校は、主体性を生かした『学力向上推進プロジェクト』を立て、学校や地域の課題に対応した具体的、日常的、実効性のある取組となるよう、学校・家庭・地域が相互に連携し実践する。

5 推進体制



<役割>

	主な活動内容	構成員
推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上推進計画の立案，推進にあたる。 全体研究会の計画，記録，各部会への連絡調整を行う。 実践報告書の原案作成及び各学年部のまとめを行う。 資料や文献等の収集・紹介を行う。 	教頭・教務 学力向上推進担当 学年主任 研究主任
全体研究会	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上推進計画の決定，実践についての共通確認を行う。 具体的実践上の諸問題について協議し共通理解をする。 実践しての成果や課題について協議する。 実践報告についての協議，決定を行う。 	全職員
学年研究部	<ul style="list-style-type: none"> 学年学級における具体的な実践計画と評価計画を立てる。 日常的な具体的実践に取り組む。 実践を通しての評価を行い，反省をもとに取組を改善する。 実践資料（文書・写真）を整理・保存する。 実践報告のまとめをする。 	各学年担任
資料整備部	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集，整理を行う。 アンケートの作成，集計，分析を行う。 「沖縄県学びのたしかめ」「県到達度調査」の Web 入力を行う。 	教務，学習支援員 学力向上推進担当 各学年

6 令和4年度 学力向上推進 年間指導サイクル

4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律強化月間（そろえる実践旬間） <ul style="list-style-type: none"> ①そろえる実践（翔南っ子のやくそく）の確認…提案（学推担当） ②規律アンケート実施…児童の個人評価を記入する（学推担当） ○ 学力向上推進計画の作成・確認・・・学推主任 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着の確認と強化 ※計算力テストの実施 ○ 全国学力調査の対策【授業】…少人数指導（学推担当・学習支援員） 【補習】…計画（学推担当）協力（全職員） ○ 家庭学習強化月間 ○ 全国学力・学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> ・自校採点及び入力（担外職員） ・無解答率の高い問題把握
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活カレンダー配布・集計（6月） ○ 保護者への学推発表（取り組みの説明）学校説明会 ○ 沖縄県「学びのたしかめ（6月）」の実施（4～5年 国語・算数）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期末補習…計画（学推主任）
夏期休業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み宿題の提供…（各学年）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ QU テストの考察と分析を生かした今後の学級経営計画 ○ 全国学力・学習状況調査結果の分析（文科省公表） <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた取組 ・成果と課題把握 ・正答率 30%以下の問題の把握
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律強化月間（そろえる実践旬間） <ul style="list-style-type: none"> ①そろえる実践（翔南っ子のやくそく）の確認 ②規律アンケート実施…児童の個人評価を記入する（学推担当） <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの宿題点検 ・既習事項の定着の確認と強化
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活カレンダー配布・集計（10月） ○ 一人一公開授業の実施…学級担任（9月～12月に実施）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査結果の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題把握 ・課題解決に向けた取組 ○ 沖縄県「学びのたしかめ（11月）」（3～6年 算数） ○ 教育の日，学推発表（実践の報告）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期末補習…計画（学推担当）
冬季休業	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の提供…（各学年）
1月	<p>次年度の『学力向上年間サイクル』スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律強化月間 ※計算力テストの実施 ○ 学力向上月間（～3月） ○ 標準学力検査に向けての取り組み実施 ○ 冬休みの宿題点検 ○ 補習計画（学推担当）…既習事項の定着の確認と強化 ○ 生活カレンダー配布・集計（1月） ○ 標準学力検査実施後の分析・考察…（1～2年）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県到達度調査に向けての取り組み実施…（全職員） ○ 県到達度調査（3年～6年 国語・算数） <ul style="list-style-type: none"> ・県到達度調査実施後の分析・考察・対応策…（学推担当） ○ 学年末補習の実施（5年生）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学推一年間のまとめと次年度へのつなぎ…（学推担当） <ul style="list-style-type: none"> ・教科年間指導計画の見直し（時数配分など）…（教科部会） ・授業改善のポイントを共有
春季休業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春休み期間中 <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の提供

7 取組の重点

取組の重点：「学びの質を高める授業改善・学校改善」

学びの質を高める系統的・継続的な授業改善と学校改善をめざし、その実現に向けた取組を「3つの視点」と「5つの方策」から明確にする。

3つの視点

- 視点1 自己肯定感の高まり
- 視点2 学び・育ちの実感
- 視点3 組織的な関わり

「県学力向上推進5か年プロジェクト・

学力向上推進プロジェクトII」より

5つの方策

- 方策1：日常化する【質的授業改善】
- 方策2：そろえる【組織的共通実践】
- 方策3：支える【発達の支援】
- 方策4：見通す【学校組織マネジメント】
- 方策5：つなぐ【学校連携・地域連携】

(1) 幼・小・中が連携し、学びの質を高める授業改善を推進する。

＜授業改善の方向を示す3つのポイント＞

- ① 各教科等で学ぶ意義・身につけさせたい力の明確化（何ができるようになるか）
- ② 各教科等の指導内容の吟味（何を学ぶのか）
- ③ 各教科等の指導方法の工夫（どのように学ぶのか）

＜各学校での取り組み＞

- ① 児童に必要とされる「資質・能力の3つの柱」で整理した評価計画へ
- ② 「カリキュラム・マネジメント」を生かした指導計画へ
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業へ

(2) 「学びの質を高める授業改善・学校改善の5つの方策」を共通実践する。

「学力向上推進プロジェクトII～学びの質を高める授業改善・学校改善～」方策フレーム				
方策	【視点1】 自己肯定感の高まり	【視点2】 学び・育ちの実感	【視点3】 組織的な関わり	【改善ツール等】
方策1 日常化する 【質的授業改善】	<input type="checkbox"/> 児童生徒が学んだことの意義や価値を実感し、自己肯定感を高める個人評価等の取組を日常化する <input type="checkbox"/> 生徒指導の3つのポイントを活かした授業を日常化する <input type="checkbox"/> 単元を見通しながら、資質・能力を育むための授業改善を日常化する			【授業デザイン】 <input type="checkbox"/> 問い/サボ <input type="checkbox"/> 授業における基本事項 <input type="checkbox"/> 授業デザインMAP※ <input type="checkbox"/> 教員プランシート <input type="checkbox"/> 単元プランシート※
方策2 そろえる 【組織的共通実践】	<input type="checkbox"/> みとる視点・観点をそろえる <input type="checkbox"/> 学習の基盤となる資質・能力の育成			【共通実践項目の設定等】 <input type="checkbox"/> アセスメント調査・分析資料等 <input type="checkbox"/> 共通実践項目
方策3 支える 【発達の支援】	<input type="checkbox"/> 確かな児童生徒理解 <input type="checkbox"/> 支持的な風土をつくる学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） <input type="checkbox"/> 学びに向かう集団づくり			【発達支援】 <input type="checkbox"/> キャリアサポート <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒への支援の手引 <input type="checkbox"/> コミュニケーションデザインの考え方を生かした支援
方策4 見通す 【学校組織マネジメント】	<input type="checkbox"/> 学校課題解決に向けた組織マネジメント機能を高める <input type="checkbox"/> 学校評価と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立 <input type="checkbox"/> 授業改善・学校改善に向けた校内研究体制の充実			【学校デザイン】 <input type="checkbox"/> 学校デザインシート（構想図）※ <input type="checkbox"/> 学校改善ルーブリック <input type="checkbox"/> フォーカスシート（重点化） <input type="checkbox"/> 年間マネジメントサイクル※
方策5 つなぐ 【学校連携・地域連携】	<input type="checkbox"/> 市町村の特色を活かした施策推進による学校づくり <input type="checkbox"/> キャリア教育の視点をふまえた校種間連携強化 <input type="checkbox"/> 学校・地域・家庭の互恵的関係の構築			【連携の枠組み・制度活用】 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会制度 <input type="checkbox"/> 地域学校協議会本部事業 <input type="checkbox"/> 小中一貫・連携教育の推進 <input type="checkbox"/> キャリア教育の推進 <input type="checkbox"/> SDGs・ESDの推進

カリキュラム・マネジメント

8 具体的な取り組み

<p>方 策 1</p>	<p>日常化する 【質的授業改善】</p> <p>□児童が学んだことの意義や価値を実感し、自己肯定感を高める個人内評価の取組を日常化する。</p> <p>□生徒指導の3つのポイントを活かした授業を日常化する。①自己存在感を与える ②共感的な人間関係を育てる ③自己決定の場や機会を与える</p> <p>□単元を見通しながら、資質・能力を育むための授業改善を日常化する。</p>	<p>【授業デザイン】に関わる改善ツール等</p> <p>□「問い」が生まれるサポートガイド</p> <p>□授業における基本事項</p> <p>□授業デザイン※</p> <p>□授業プランシート</p> <p>□単元プランシート※</p>
<p>実 践 項 目 ・ 内 容</p>	<p>めざす授業像：○他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業</p> <p>めざす児童の姿：○主体的な問いと自分なりの考えを持ち表現する ○他者との交流を通し、考えを広げ深める ○物事に積極的にチャレンジし、他者を大切にす</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の基本型（指導過程）を確立する。</p> <p>(1)「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の「問い」を引き出す課題の提示。 ・児童の「問い」を生かした「めあて（目標）」の設定。 ・見通しをもち、めざすゴール（評価規準）をイメージさせる工夫。 ・既習の知識・技能を活用する場面の設定。 ・比較、分類、類推などの深い学びにつなげる発問の工夫。 ・他者との交流を通して、自分の考えを吟味し、深い学びにつなげる場面の設定。 ・多様な意見や考えを整理・分類し、まとめさせる工夫。 ・「めあて」と正対した「まとめ・振り返り」の確実な実施。 ・学びの過程を振り返り、新たな「問い」を持たせる工夫。 ・定着状況の的確な把握と必要に応じた手だての工夫。 ・児童の姿の見取り（評価）を生かした授業展開。 ・言語活動に応じた学習形態の工夫。 <p>○『「問い」が生まれる授業サポートガイド』及び「わかる授業サポートガイド」の活用と「授業の基本事項」を踏まえた授業改善に取り組む。</p> <p>○道徳の授業35時間（小1は34時間）、内容項目の完全実施及び地域指定研究の成果を更に充実させる。（公開授業の実施）</p> <p>○幼稚園四園合同研修会の実施及び改善を図る。（保幼小連携の充実）</p> <p>○教材研究ノートを作成して授業に臨む。（構造的な板書計画等） （※方策2参照）</p> <p>○「チーム学校」としての体制を作る。（各種会議・研修会の充実、ダイバーシティ・マネジメントの構築）</p> <p>○保幼小中相互の授業参観を促進する。（「学び」の継続性を保障）</p>	

方 策 2	そろえる 【組織的共通実践】 <input type="checkbox"/> みとる視点・観点をそろえる <input type="checkbox"/> 学習の基盤となる資質・能力の育成	【共通実践項目の設定等】 に関わる改善ツール等 <input type="checkbox"/> アセスメント調査・分析資料等 <input type="checkbox"/> 共通実践項目
実 践 項 目 ・ 内 容	<p>○教材研究ノート（マイノート）を作成して授業に臨む。（構造的な板書計画等）</p> <p>(1) 学年会や教科部会を活用し、共同で教材研究を深める。</p> <p>(2) 学年の教材研究の記録ノートを作成する。（研究の足跡を蓄積する）</p> <p>○各種調査等の結果分析による課題解決への対応を行う。</p> <p>(1) 諸調査の結果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査 ・県学力到達度調査 ・沖縄県学びのたしかめ ・単元テスト ・町標準学力調査 ・町リーディングスキルテスト ・沖縄県児童生徒質問紙調査 ・学校、学級の実態調査（QUテスト） ・分析後の再テスト及び課題の指導 <p>(2) 各種資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における指導の努力点 ・わかる授業 Support Guide ・学習指導要領及び解説 ・全国学力・学習状況調査報告・授業アイデア ・評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料等 <p>○「チーム学校」としての体制を作る。（各種会議・研修会の充実、ダイバーシティ・マネジメントの構築）</p> <p>○全教師が電子黒板等の活用することができ、「わかる授業」を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員の活用による情報教育の充実を図る。（電子黒板、タブレット等） <p>○保幼小中相互の授業参観を促進する。（「学び」の継続性を保障）</p> <p>(1) 幼小中相互の授業参観を計画的に実施する。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の結果及び沖縄県学力向上 Web システム（学びのたしかめ）を活用した正答率が低い問題へ対応する。</p> <p>(1) 諸調査から、重点指導項目を洗い出し、授業改善に生かす。</p> <p>(2) 「全国学力・学習状況調査」「沖縄県学びのたしかめ」「沖縄県到達度調査」「標準学力調査」等の結果を活用した授業づくり。</p> <p>○「町そろえる実践」の推進と「特色ある学校づくり」を行う。</p> <p>(1) 学習規律の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2分前着席」「1分前黙想」の継続。 ・「話す・聞く態度」や姿勢など基本的な学習態度の徹底。 ・学習用具の準備や片づけ、整理整頓、提出物等の指導の徹底。 <p>(2) 規範意識・マナーの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のあいさつ、返事の習慣化を図る。 ・他人を思いやる心や認め合う心の育成。 <p>(3) 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に応じた年間読書目標冊数を設定し、読書に親しませる。 ・読書量だけでなく、発達段階に応じた図書を推薦し読書の質を高める ・朝の読書タイムを充実させる。（月：読書 水曜：読み聞かせ） ・読書月間や読書旬間を設定し、読書意欲を高める。 ・各教科との関連を図り、積極的に図書館を利用する。 	

<p>方策 3</p>	<p>支える【発達の支援】</p> <p><input type="checkbox"/> 確かな児童生徒理解</p> <p><input type="checkbox"/> 支持的な風土をつくる学級経営の充実 (ガイダンスとカウンセリング)</p> <p><input type="checkbox"/> 学びに向かう集団づくり</p>	<p>【発達支援】に関わる改善ツール等</p> <p><input type="checkbox"/> キャリアパスポート</p> <p><input type="checkbox"/> 不登校児童生徒への支援の手引</p> <p><input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインの考え方を生かした支援</p>
<p>実践 項目 ・ 内容</p>	<p>○「町かすりっ子『学ぶ』プロジェクト」を踏まえた自校の「学力向上推進計画」を作成する。</p> <p>○「町そろえる実践」の推進と「特色ある学校づくり」を行う。 (※方策2参照)</p> <p>○到達目標を明確に設定し、学力向上年間サイクルの活用を通して具体的な手立てを実践する。 (※方策4参照)</p> <p>○学校行事、学校公開日及び授業参観を通して、学校・家庭・地域・行政との連携を強化する。 (※方策5参照)</p> <p>○Q-Uアンケート、いじめアンケート等の実施及び分析・活用して、児童理解に努め、学級の人間関係づくりを促進する。</p> <p>(1) 支持的風土をつくる学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが楽しく、安心して過ごせる学級づくりに努める。 ・教師と児童の信頼関係や児童相互の温かい人間関係のある学級づくりに努める。 ・授業の中で、お互いのよさを認め合い交流できる学習集団を形成する。 ・学校生活の諸活動を通して、自分の役割に責任をもって取り組める児童を育てる。 ・Q-Uテストの実施及び分析結果を活用し、よりよい人間関係づくり、学級づくりに努める。 <p>(2) 特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童の実態把握と指導・支援の充実を図る。 ・毎月の児童支援委員会を通して、児童の共通理解を図り支援体制を確認する。 <p>(3) 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じた道徳の授業を実践し、一人一人の道徳性を高める。 <p>(4) 人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1火曜日を「人権の日」とし、人権について考える機会をもつ。 ・人権擁護員、法務局による特設授業を実施する。 <p>(5) 生徒指導・教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の児童支援委員会を通して、全職員の共通理解を図り、課題解決のための共通実践を行う。 ・「学校いじめ防止基本方針」の共通実践と効果的な活用。 ・「いじめや不登校への早期発見・早期対応」(心のアンケート、教育相談(年2回)の実施。) ・スクールカウンセラー等、心の相談員の活用。 	

<p>方 策 4</p>	<p>見通す【学校組織マネジメント】</p> <p><input type="checkbox"/> 学校課題解決に向けた組織マネジメント機能を高める</p> <p><input type="checkbox"/> 学校評価と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立</p> <p><input type="checkbox"/> 授業改善・学校改善に向けた校内研究体制の充実</p>	<p>【学校デザイン】に関わる改善ツール等</p> <p><input type="checkbox"/> 学校デザインシート（構想図）※</p> <p><input type="checkbox"/> 学校改善ループリック</p> <p><input type="checkbox"/> フォーカスシート（重点化）</p> <p><input type="checkbox"/> 年間マネジメントサイクル※</p>
<p>実 践 項 目 ・ 内 容</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めざす学校像： ○元気いっぱい 笑顔いっぱい 優しさいっぱいの学校</p> <p>○一人一人を大切にする“温かい”学校</p> <p>○家庭、地域と連携し信頼され社会に開かれた学校</p> </div> <p>○到達目標を明確に設定し、学力向上年間サイクルの活用を通して具体的な手立てを実践する。</p> <p>(1) 学力向上マネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R…前年度の結果を分析・考察する。 ・ P…今年度の目標設定（総括目標・推進目標）、取組事項の設定、共通理解を図る。 ・ D…計画に基づいて、全校体制による共通実践及び授業改善を進める。 ・ C…取り組みの進捗状況を定期点検する。（7月・12月） ・ A…課題を共有し新たな改善策を講じる。（授業改善と補習指導） <p>(2) 全職員体制による補習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パワーアップタイム（補習（15分））（火～木）……課題プリント，ドリル学習等 <p>(3) 学力向上推進計画の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習規律の徹底の自己評価（4月・9月） ・ 沖縄県学力定着状況調査（学びのたしかめ）（6月）4・5年実施 ・ 沖縄県児童生徒質問紙調査（6月・11月）4・5・6年実施 ・ 取組構想，取組計画の中間評価（7月） ・ 生活カレンダー実施と自己評価（6月・10月・1月） ・ 町「そろえる実践」の評価（11月） ・ 年間評価（12月）の実施。 ・ 沖縄県学力到達度調査（2月）5・6年実施 <p>○学級経営と教科指導を核とした研修，教育活動を展開する。</p> <p>(1) 教師の指導力向上をめざした校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会に積極的に参画し，授業力の向上に努める。 ・ 一人一公開授業に取り組み，授業力の向上に努める。 ・ 相互の授業参観を計画的に実施する。 <p>(2) 教育課程の「質」と「量」の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実態に応じた教育課程の編成を行い，授業時数を確保する。 ・ 授業時数の管理や学習状況を週案等で把握し，改善する。 <p>(3) 学期末に学級経営の自己評価</p> <p>○「町かすりっ子『学ぶ』プロジェクト」を踏まえた自校の「学力向上推進計画」を作成する。</p> <p>○「町そろえる実践」の推進と「特色ある学校づくり」を行う。</p>	

<p>方 策 5</p>	<p>つなぐ【学校連携・地域連携】 <input type="checkbox"/>市町村の特色を活かした施策推進による学校づくり <input type="checkbox"/>キャリア教育の視点をふまえた校種間連携強化 <input type="checkbox"/>学校・地域・家庭の互恵的関係の構築</p>	<p>【連携の枠組み・制度活用】に関わる改善ツール等 <input type="checkbox"/>学校運営協議会制度 <input type="checkbox"/>地域学校協働本部事業 <input type="checkbox"/>小中一貫・連携教育の推進 <input type="checkbox"/>キャリア教育の推進 <input type="checkbox"/>SDGs・ESDの推進</p>
<p>実 践 項 目 ・ 内 容</p>	<p>○学校行事，学校公開日を通して，学校・家庭・地域・行政との連携を強化する。 (1)キャリア教育の視点に基づいた特別活動の充実（学級活動・児童会活動等の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を持たせる取り組みを行い，自己肯定感を向上させる。 ・当番活動や係活動等において，一人一人の働きや活躍を認め合う。 ・委員会活動において「責任をもって自分の役割を果たす」ことができるようにする。 ・各種行事における自分の役割を意識させ，その努力や成長を認める。 ・異年齢交流活動の実施。 ・年長者や幼稚園児との交流活動の充実。 <p>○管理職のリーダーシップ及び同僚性を育み，日頃から業務改善，労働安全衛生管理に取り組む。</p> <p>○小さなことに気づき，「報告・連絡・相談・確認・調整」のできる体制を築く。</p> <p>○「早起き，朝ごはん，徒歩登校，適度な運動，家庭学習，早寝」（かすりっ子スタイル）を家庭と連携して確立する。</p> <p>(1)家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きを配布し，家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る ・「授業と連動した課題」を与え，家庭学習の充実を図る。 <p>(2)基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の生活目標の共通実践。 ・各学期に家庭と連携し，生活リズムチェックを行う。 <p>○「学校応援隊はえばる」を活用して多様な学習活動を展開する。</p> <p>(1)学校支援地域本部事業等（人権擁護委員会・はえばる文化センター等）や地域コーディネーターを積極的に活用し，体験的な活動を充実させ主体的に学ぶ姿勢を育てる。</p> <p>(2)学校支援員の活用による授業改善及び，個に応じたきめ細かな指導。</p> <p>(3)特別支援員の活用による児童一人一人への適切な支援。</p> <p>○町行事・字行事等への積極的な参加を促す。</p>	